

カッター研修

# カッター研修



息をそろえて

ぴったり爽快！

～ 一般 ～



国立淡路青少年交流の家

# カッター研修【一般】

息をそろえてぴったり爽快！

## ■ 概要

カッターボートと呼ばれる船舶を海上で漕ぐことにより、仲間と力をあわせることの大切さを学びます。また、自力で帰港することにより達成感を味わうことができます。

## ■ ねらい

- ◆自分たちの力で帰港し、達成感を得る。
- ◆グループの在り方について考える。
- ◆グループに対する個人の関わり方について考える。
- ◆リーダーシップ、コミュニケーション、協力について考える。

## ■ 準備物

	準備物	必要数
1	●乗艇名簿	艇数分
2	●救助艇乗船申請書	必要な場合のみ
3	○水筒	
4	○タオル	
5	○帽子	

※●はHPよりダウンロードしてください。

- 必要なもの
- あると良いもの

## ■ 服装

運動ができる服装

運動靴(サンダル・クロックス不可)

雨具(雨天実施の場合)

## ■ 指導者、人数、費用など

対象	一般
指導	全体指導
出艇基準	・一艇につき原則として9名以上25名以下 ・最大艇数は8艇まで
費用	3艇以下： 7,000円 4艇以上：14,000円
実施時間	3時間
実施場所	レクチャー：艇庫
	実習：海上
	ふりかえり：艇庫前
時期	3月～11月



## 事前

- 乗艇名簿を入所日(入所当日可)までに提出する。 ※入所日実施の場合は前日まで
- 救助艇乗船希望の場合、救助艇乗船申請書を乗船名簿に準じて提出する。  
※小学生は3艇以上、中学生以上は4艇以上の場合のみ救助艇の出艇あり
- 名簿に変更が生じた場合は、実施までに速やかに連絡する。

## 展開

	午前	午後	活動	研修生の動き	団体指導者の動き	職員の動き
導入 (60分)	8:40	13:00	艇長・通信係への事前レクチャー		・艇長、通信係は艇庫に集合	説明
	9:00	13:20	課題説明・安全面のレクチャー	艇庫前集合 陸上に設置のカッターボートを使い、1グループがモデルとなり、乗艇から上陸までの流れを把握する。		説明
	9:40	14:00	岸壁へ移動、乗艇	岸壁へ移動、乗艇		指示
活動中 (90分)	10:00	14:20	出港	指揮艇の曳航により海上へ出る	・艇長は、安全面に注意し、舵の操作をする。また、艇のモチベーションを高めるよう声かけをする。 ・通信係は、職員の指示を艇長に伝える。	安全面の指示を無線で行う。 着岸時は指導及び補助を行う。
			洋上研修	実際にカッターボートを漕艇する		
			入港	自力で岸壁まで漕艇する		
			上陸、艇庫へ移動	上陸、艇庫へ移動		
まとめ (20分)	11:40	16:00	ふりかえり	指導者(当所職員)による研修のまとめ、研修生の感想の発表		研修のまとめや発表に対するコメントなど
	5	5				
	12:00	16:20				

※詳しくは「カッター研修の流れ」をご覧ください。(HPよりダウンロードできます)  
時間は目安です。艇数や海の状況により変わります。

## 留意点

### 安全上の留意点

- 艇長は周囲の状況を常に把握し、他艇との接触が無いよう操艇する。
- 櫂(オール)を倒す際に、櫂と舷の間に指を挟まないよう気を付ける。
- 舷(船縁)に手をかけないこと。
- カッターボートへの乗り降りにははしごを使用するが、はしごの昇降は、陸側を向いて行う。
- 入港時、川に入ったら休憩及び人員交代をしないこと。

### 指導上の留意点

- A艇員にB艇員よりも力が強い者を配置する。
- 適切な休憩が必要であるが、長い休憩は船酔いを引き起こすため注意する。
- 艇員にわかりやすい掛け声をかける。

## 荒天時の対応

- 少雨は実施可能
- 風速が7m/sを超えたときは実施不可能
- 雷発生時は実施不可能
- 海の状況によっては晴天時でも実施できないことがある。

## 中止時の対応

- 中止時の代替プログラムを考えておいてください。
- コミュニケーションを高めることができる実習等もあります。職員にご相談ください。

※この名簿は入所日（入所日に実施の場合は前日）までに提出してください。

## カッター乗艇名簿(一般用)

団体名						実施人数		
実施時期	平成 年 月 日(午前、午後)				男性		合計	名
実施艇	号艇 1~9号艇 (ただし4号艇はなし)				女性			
役割	氏名	性別	年齢	役割	氏名	性別	年齢	
艇長※				通信※				
ボートフック※				ロープ※				
1 A※				1 B				
2 A※				2 B				
3 A※				3 B				
4 A※				4 B				
5 A※				5 B				
6 A※				6 B				
7 A※				7 B				
8 A※				8 B				
交代1				交代2				
交代3				交代4				
交代5								

※印のある役割は必ず必要です。

### 出艇基準

1艇の乗艇人員は、9名以上25名まで

- 乗艇者の氏名・性別・年齢を記入してください。(性別・年齢の省略不可)
- こぎ手として力が必要なため、A艇員にはできるだけB艇員より力の強い方を充ててください。
- ボートフック係は必ず必要です。力の強い方を充ててください。
- ロープ係も必ず必要ですが、ボートフック係の人が兼ねることができます。
- 9~10名で実施する場合は、役割の兼務について説明しますので、ご相談ください。

